



**Matsumoto KiYoshi**  
*Holdings*

## 株主の皆様へ

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで





Matsumoto KiYoshi  
Holdings

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

## グループ経営理念

あなたにとっての、いちばんへ。

# 1st for You.

私たちは、すべてのお客様のために  
まごころをつくします。

私たちは、すべてのお客様の美と健康のために  
奉仕して参ります。

私たちは、すべてのお客様にとって、  
いちばん親切なお店を目指します。

企業の更なる飛躍を象徴する、  
3つの成鳥(誠聴・整調・成長)を念頭に  
CI(コーポレートアイデンティティ)が誕生

マツモトキヨシの静的な“3羽の鳥”のイメージから  
動的な“飛躍する成鳥”へと進化し、  
3つのせいちょう(成鳥)の意味を持たせたCIを導入いたしました。

1. 誠聴：誠実にお客様の声を聴きます。 ※独自に意味づけした造語となります。
2. 整調：美と健康の分野において、お客様の調子を整えます。
3. 成長：上記2つをもって、マツモトキヨシホールディングスグループは成長します。

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに株式会社マツモトキヨシホールディングス第2期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

平成21年6月



代表取締役社長兼COO  
吉田 雅司

代表取締役会長兼CEO  
松本 南海雄

## 「2015年度グループ売上高1兆円、2000店舗」の実現へ向けて

マツモトキヨシホールディングスは「1st for you. あなたにとっての、いちばんへ。」をグループ経営理念に掲げ平成19年10月1日、継続した成長の実現と企業価値の向上を目指して設立いたしました。

当グループは現在、マツモトキヨシをはじめとする事業会社13社、フランチャイズ企業15社、業務提携企業6社で構成されており、更なる事業ネットワークの拡大を推進しております。

マツモトキヨシホールディングスは、グループ全体の経営戦略の立案と進捗の管理を行い、事業会社が販売とサービスに専念できる体制を確立しております。それにより、事業会社は地域密着型の事業展開を行い、お客様視点に立ち、お客様のニーズに対して迅速にお応えするという使命を実現できるものと考えております。

本年施行の改正薬事法への対応、異業種の業界参入による競争の激化など、これまでのドラッグストア業界の環境が大きく変動する年となりますが、当グループは新制度に円滑に対応するべく

着実に準備を整えてまいりました。

医薬品をより安全に購入できる、より有効に服用することができるメリットは専門店だからこそご提供できるものと自負しております。

また、少子高齢化はますます現実味を帯び、日本の医療制度において医療費増大の懸念は大きくなっており、軽度の疾病や予防についてはセルフメディケーションを推進する「かかりつけ薬局」が中心となるなど、我々ドラッグストア事業は地域になくてはならない存在となってまいります。

お客様のニーズに合わせた調剤併設店舗や長時間営業店などの店舗展開、店頭で直接接客にあたる薬剤師・登録販売者の専門性を活かしたカウンセリング体制により、これまで以上に地域に密着した専門店としてお客様からの支持を得られるようグループ企業一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 改正薬事法への対応

～高い専門性の追求と充実の研修制度～

## 地域医療の役割



少子高齢化の時代をむかえ、医療費の高騰が懸念されている昨今、『自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする』軽度の疾病は『自己治療』する。生活習慣病などの重大疾病にならないように、『予防』を実施する。セルフメディケーションの拡大により、2025年には55兆円にまで拡大すると試算されている日本の医療費を、10～15兆円抑制することが可能と見込まれています。当社は地域の皆様の健康維持・増進のため果たせる役割を推進してまいります。

### 薬局とは…

一般用医薬品だけではなく、薬局医薬品も含めた「すべての医薬品」を取り扱うことができます。一般用医薬品によるセルフメディケーションだけではなく、医療機関から発行された処方せんを通じて『地域医療』を担う役割を持ちます。また、『かかりつけ薬局』として、お客様の健康を守る動きをいたします。

### 店舗販売業とは…

一般用医薬品を取り扱い、お客様の身近な健康ステーションとしてセルフメディケーションの中心的役割を担います。配置される専門家の種類により、すべての一般用医薬品を取り扱う店舗と、第2類、第3類医薬品のみを取り扱う店舗に分かれます。

| 種 類       | 配置される専門家        | 取り扱える医薬品                                         |
|-----------|-----------------|--------------------------------------------------|
| 薬 局       | 薬 剤 師           | すべての医薬品<br>(薬局医薬品＋一般用医薬品)                        |
| 店舗<br>販売業 | 薬剤師または<br>登録販売者 | 薬剤師…すべての<br>一般用医薬品<br>登録販売者…一般用医薬品の<br>うち第2類、第3類 |

## 薬剤師と登録販売者

薬事法の改正により一般用医薬品は第1類から第3類までの3種類に分けられ、それに対応する専門家が責任を持って販売する制度となりました。当社グループではより高い専門性と充実した販売環境を整えるために、薬剤師、そして登録販売者の充実を図り、「地域に密着したかかりつけ薬局」の実現を目指しております。

| リスク区分   | 対応する専門家 | 質問がなくても行う積極的な情報提供 | 相談があった場合の対応 |
|---------|---------|-------------------|-------------|
| 第1類 医薬品 | 薬剤師     | 文書での<br>情報提供義務づけ  | 義 務         |
| 第2類 医薬品 | 薬剤師     | 努力義務              |             |
| 第3類 医薬品 | 登録販売者   | 不要<br>(薬事法上定めなし)  |             |

### 登録販売者は…

一般用医薬品のうち、第2類、第3類医薬品について情報提供・相談応需を実施します。

### 薬剤師は…

すべての医薬品を取り扱います。  
一般用医薬品のうち、効き目の鋭い第1類医薬品については薬剤師だけが取り扱い、責任を持って書面を用いての情報提供・相談応需を行います。

## 改正薬事法に対応した店舗展開

当社はお客様のニーズ、利便性を第一に考え、改正薬事法に対応した店舗展開を行ってまいります。  
調剤薬局をはじめ、今まで以上に調剤併設店舗を充実し、また長時間営業の店舗運営を行ってまいります。



調剤薬局（モール）



長時間営業店



調剤併設店



処方せん受付

## 教育体制（研修制度）

薬剤師教育・登録販売者教育、  
人事制度との連動による研修制度

薬剤師の研修

登録販売者の研修

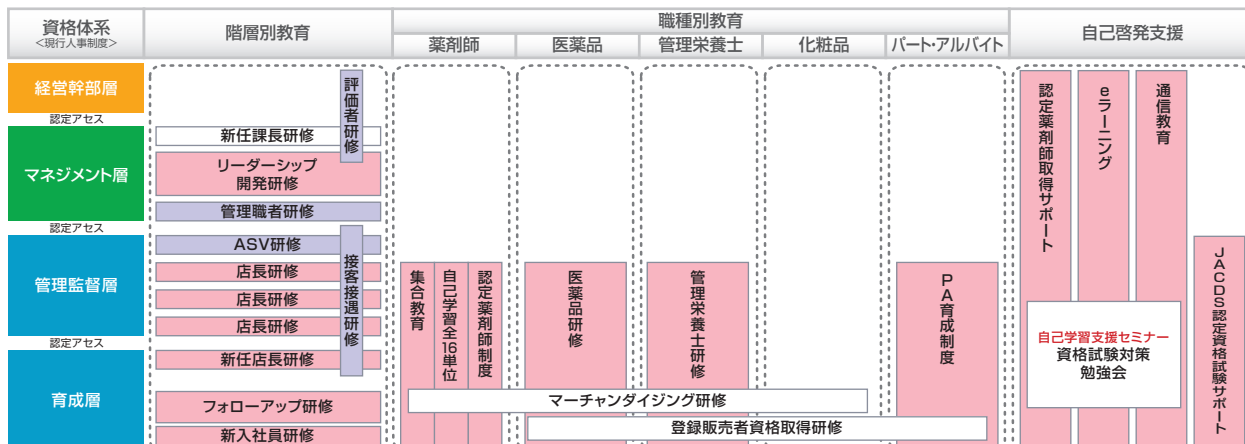
薬事法改正により、プロフェッショナル（薬剤師、登録販売者）による店舗での役割が重要視されます。専門知識の強化とともに、コミュニケーション能力（カウンセリング力）の強化も必要となります。従来行ってきた集合研修に加え、社内通信を利用した研修、インターネット学習等を実施し、幅広く学習できる環境を整えてまいります。

セルフメディケーション指南役として必要とされる第1類医薬品知識を中心とした医薬品知識と最新の医療情報について知識を習得できる研修を実施します。また、調剤担当者に対しては別途専門研修を実施し、『かかりつけ薬局』として地域医療に貢献ができる薬剤師の育成をいたします。

実践形式の研修を強化し、ケーススタディを用いて、登録販売者試験に向けて得た知識を応用できるものへ変換いたします。今後の登録販売者試験受験者に対しても、集合研修、自己学習支援を実施し、更なる合格者確保を目指してまいります。



## 能力開発体系の全体図



# Store Model ～マツモトキヨシ店舗モデル～

## 超繁華街デザイン店舗

当社のフラッグシップショップである銀座5th店をはじめ、新宿三丁目店などの超繁華街の大型百貨店などに隣接立地する多層式店舗です。都心で働く女性をメインターゲットとしエレガントで高級感のある空間でショッピングをお楽しみいただけます。



■銀座5th店

## ターミナル立地デザイン店舗

ターミナル駅に隣接した立地の店舗や駅ビル内に入店しているテナント店舗です。従来のマツモトキヨシカラーにモダンなエッセンスが加わっているデザインです。



■ららぽーと磐田店



※写真は店舗イメージです

## ターミナル商業施設立地デザイン店舗

ターミナルの商業施設にインショップとして展開しています。シンプルで清潔感あふれる店舗でアパレル系の店舗と同フロアに隣接してスタイリッシュな雰囲気演出しています。ヘルス&ビューティを中心に幅広い品揃えで人気をよんでいます。



■ビーンズ武蔵浦和店

## 高付加価値立地デザイン店舗

都心複合商業施設内、高感度ファッションビル内のインショップとして展開しているテナント店舗です。都市生活者のコンパクトドラッグストアとして商業施設を利用するOL、サラリーマンのお客様に洗練された店舗で厳選した商品のお買い物をお楽しみいただけます。



■赤坂Bizタワー店

## レギュラーデザイン店舗

駅前や商店街で展開しているマツモトキヨシのベーシックタイプの店舗デザインです。マツモトキヨシの従来の色合いを基本としており、親しみやすいいつものマツモトキヨシの店舗で、特に近隣生活圏内の主婦層にご利用いただいています。



■蔵店

## 郊外型ドラッグストア

郊外住宅地などに隣接し駐車場を備え、当社単独で出店している大型のドラッグストア店舗です。お客様の生活ストアを目指して日用雑貨、食料品などの品揃えも豊富に取り揃えています。



■DS戸田店

## インショップ型ドラッグストア

ショッピングセンター内に立地している大型のドラッグストアです。医薬品、化粧品、健康食品をはじめ日用雑貨や食料品まで品揃えが充実しています。



■DSラザウォーク甲斐双葉店

## 門前調剤薬局

総合病院などの門前に立地している調剤薬局店舗です。高い専門性を持ち合わせる薬剤師がスペシャリストとして患者様のご相談に対応することで、信頼の高い医療機関を目指しています。



■浜松中央店

## 医療モール型ファーマシー

医院と建物内に立地しています。調剤併設店となっており処方せんをお預かりして調剤をお待ちの間に化粧品や健康食品、OTC医薬品などをお買い物いただける店舗です。



■調剤薬局白河三丁目店

## NSC型ドラッグストア

スーパーやホームセンターを核とするショッピングセンター内に立地しています。敷地内に他専門店があり共有の大型駐車場を有しています。



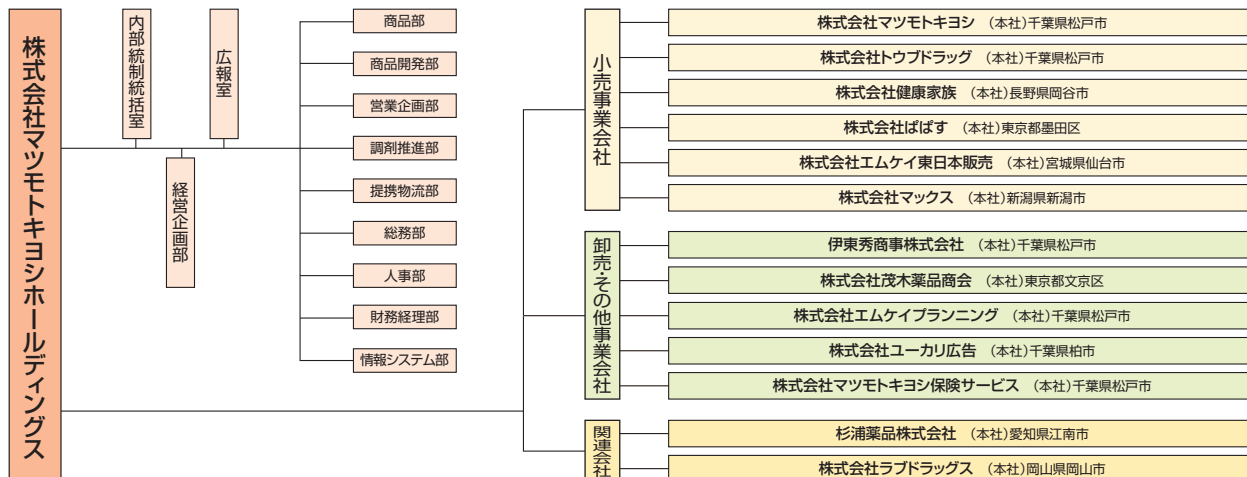
※NSC（近隣型商業施設）

■DS幸手北店

# Group Network

(平成21年3月31日現在)

## マツモトキヨシホールディングス グループネットワーク



## マツモトキヨシホールディングス グループ会社

(株)マツモトキヨシ  
(本社) 千葉県松戸市



(株)マツモトキヨシ



(株)トウブドラッグ  
(本社) 千葉県松戸市



(株)健康家族 (ファミリー薬局)  
(本社) 長野県岡谷市



(株)ばばす  
(本社) 東京都墨田区



(株)エムケイ東日本販売  
(本社) 宮城県仙台市

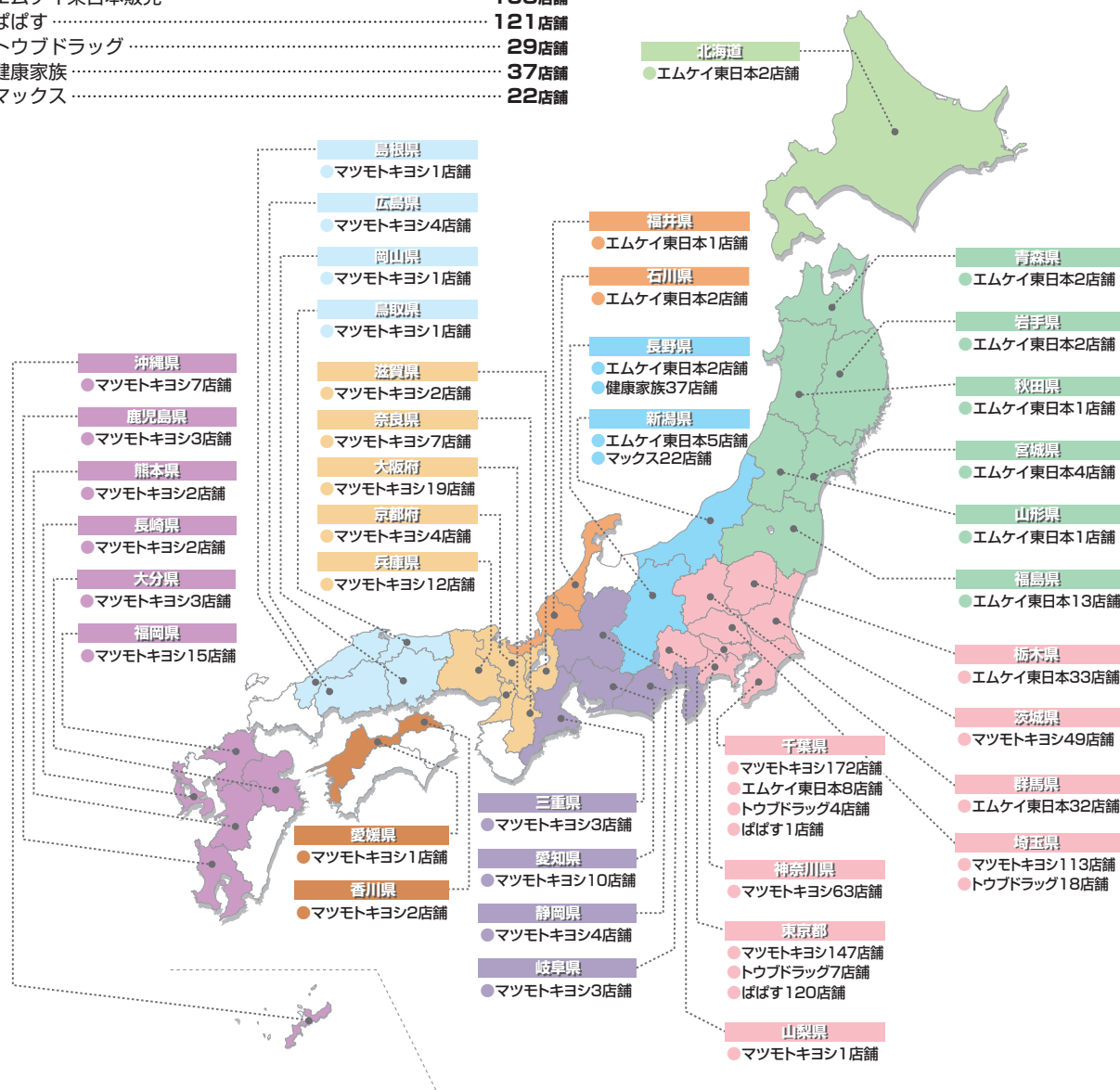


(株)マックス  
(本社) 新潟県新潟市



# 店舗総数 968店舗

|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| マツモトキヨシ (FC店舗・ホームセンター・NET店舗含む) | 651店舗 |
| エムケイ東日本販売                      | 108店舗 |
| ぱぱす                            | 121店舗 |
| トウブドラッグ                        | 29店舗  |
| 健康家族                           | 37店舗  |
| マックス                           | 22店舗  |



# 営業の概況

当連結会計年度（平成20年4月1日～平成21年3月31日）における日本経済の現状は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融・経済危機を契機に、世界的な景気後退が深刻化するなか、株式・為替の急激な変動、輸出産業を中心とする企業業績の低迷や所得の伸び悩みによる雇用情勢の急激な悪化を受け、消費意欲の後退を更に促進させる状況が続いております。

ドラッグストア業界においても、景況感の急激な悪化から個人消費が低迷するなか、M&Aや資本・業務提携による業界再編の加速や価格競争など、業種／業態を越えた競争激化が進み、また、天候要因も相まって、当社グループを取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のなか、当社グループは引き続き、将来業績に貢献する慎重な出店に注力するとともに、更なる経営の健全化に向けた不採算店舗の閉鎖（スクラップ&ビルドを含む。）を実行するとともに、既存店の活性化に向けた改装や地域環境に合致した商品カテゴリーの拡充などにも積極的に取り組んでまいりました。

一方、競争環境が激しさを増すなか、小商圏化した市場シェアを確実に確保するため、ロイヤルカスタマーの醸成に向けた販促施策、MKカスタマー商品（プライベートブランド商品）の拡充、お客様ニーズを反映した専門性の高い人材によるカウンセリングを強化するなど、地域に密着した展開に努めてまいりました。

## <小売事業>

第2四半期中盤（8月中旬）以降、特に第4四半期においては、気象条件や温度要件によりシーズン商品は低迷し、更に昨年以降、先行き不透明な世界的な金融不安が日本経済に与える影響も大きく、企業収益の悪化による急速な個人消費の冷え込みは予想以上となりました。

このような厳しい環境のなか、特定検診制度の導入を契機とした生活習慣病関連の漢方薬やバランス栄養食の継続的な拡販、生活改善薬や発毛・養毛剤などの新規商品の展開強化、ウイルス対策を捉えた予防意識の高まりによる関連商品の需要拡大、花粉症関連商品の早期展開、消費者の価格意識に即応した日用品・雑貨関連商品へ

の対応強化、MKカスタマー商品の拡充やカウンセリング型化粧品品の構成比拡大などにより、利益確保を目指してまいりました。

しかしながら、個人消費の冷え込みは深刻化し、節約志向と価格意識の高まりに加え、暖冬影響による季節商品の伸び悩みなどから売上は低調に推移しましたが、店舗ごとのきめ細かな価格対応や仕入条件の改善などにより、利益確保へ繋がりました。

販売費及び一般管理費は、改正薬事法を捉えた新資格者の受験対応及びカウンセリング体制強化により人件費が増加したものの、効率かつ効果的な販促施策に軸足を移したことにより、広告宣伝費などの抑制に努めてまいりました。

新規出店に関しましては、滋賀県への初出店（2店舗）を含めグループとして46店舗を出店し、その領域は1都1道2府36県に拡大いたしました。

また、重点施策である既存店の改装を76店舗で実行し、不採算店舗を70店舗閉鎖いたしました。

その結果、当連結会計年度末の当社グループ店舗数は、968店舗となりました。

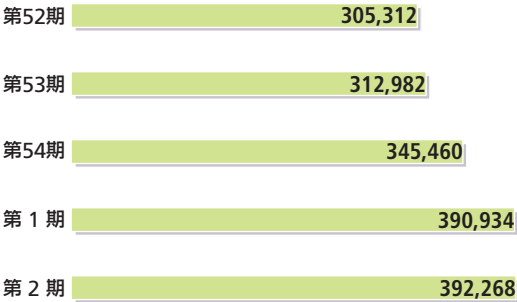
## <卸売事業>

グループ各社との仕入れ統合が進行するとともに、その他関連会社への卸売の増加、株式会社明治堂薬品（平成20年4月 愛知県・8店舗）、株式会社スーパーバリュー（平成20年4月 埼玉県・8店舗）、株式会社ラブドラッグス（平成20年5月 岡山県・43店舗）、株式会社保健堂（平成20年9月 東京都・5店舗）、モリス株式会社（平成20年11月 兵庫県・10店舗）とのFC契約など順調に拡大しております。

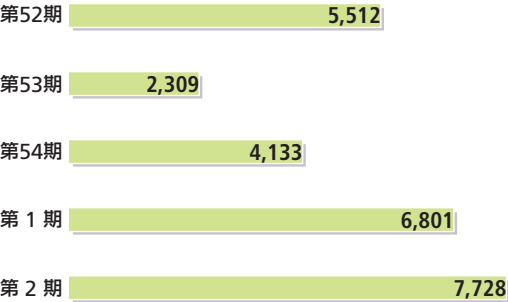
以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,922億68百万円（連結前年同期比0.3%増）、営業利益は163億24百万円（同3.5%増）、経常利益は179億89百万円（同5.9%増）、当期純利益77億28百万円（同13.6%増）と増収増益となり、売上高、営業利益、経常利益段階では過去最高を更新いたしました。（※売上高／営業利益／経常利益は、株式会社マツモトキヨシ連結業績を含む。）

# 連結財務ハイライト

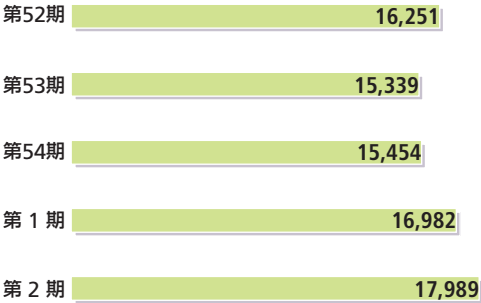
## 売上高の推移（単位：百万円）



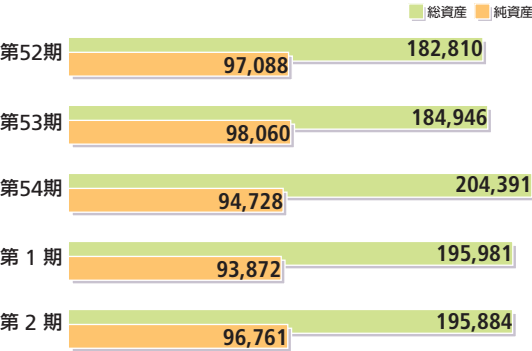
## 当期純利益の推移（単位：百万円）



## 経常利益の推移（単位：百万円）



## 総資産／純資産の推移（単位：百万円）



（単位：百万円）

| 科 目     | 第52期    | 第53期    | 第54期    | 第1期     | 第2期     |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売 上 高   | 305,312 | 312,982 | 345,460 | 390,934 | 392,268 |
| 経 常 利 益 | 16,251  | 15,339  | 15,454  | 16,982  | 17,989  |
| 当期純利益   | 5,512   | 2,309   | 4,133   | 6,801   | 7,728   |
| 総 資 産   | 182,810 | 184,946 | 204,391 | 195,981 | 195,884 |
| 純 資 産   | 97,088  | 98,060  | 94,728  | 93,872  | 96,761  |

（注）1．第54期までは、株式会社マツモトキヨシ（連結）のものです。

2．第1期は、平成19年10月1日付で設立された株式会社マツモトキヨシホールディングスが、完全子会社となった株式会社マツモトキヨシの連結財務諸表を引き継ぎ、期首に設立されたものとみなして作成しております。

# 連結財務諸表

## ◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目             | 前 期<br>平成20年3月31日現在 | 当 期<br>平成21年3月31日現在 |
|-----------------|---------------------|---------------------|
| <b>●資産の部</b>    |                     |                     |
| <b>流動資産</b>     | <b>81,029</b>       | <b>80,434</b>       |
| 現金及び預金          | 16,866              | 11,344              |
| 売掛金             | 9,131               | 10,259              |
| たな卸資産           | 44,343              | —                   |
| 商品              | —                   | 45,537              |
| 貯蔵品             | —                   | 1,419               |
| 繰延税金資産          | 2,789               | 2,283               |
| その他             | 7,954               | 9,745               |
| 貸倒引当金           | △54                 | △155                |
| <b>固定資産</b>     | <b>114,952</b>      | <b>115,449</b>      |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>55,847</b>       | <b>57,720</b>       |
| 建物及び構築物         | 13,143              | 12,913              |
| 土地              | 40,964              | 41,650              |
| リース資産           | —                   | 1,108               |
| 建設仮勘定           | 105                 | 337                 |
| その他             | 1,635               | 1,709               |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>10,425</b>       | <b>9,911</b>        |
| のれん             | 7,699               | 6,669               |
| その他             | 2,725               | 3,241               |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>48,678</b>       | <b>47,818</b>       |
| 投資有価証券          | 5,681               | 6,427               |
| 繰延税金資産          | 3,719               | 3,895               |
| 敷金及び保証金         | —                   | 33,611              |
| 差入敷金保証金         | 34,602              | —                   |
| その他             | 5,359               | 4,794               |
| 貸倒引当金           | △683                | △911                |
| <b>資産合計</b>     | <b>195,981</b>      | <b>195,884</b>      |

| 科 目            | 前 期<br>平成20年3月31日現在 | 当 期<br>平成21年3月31日現在 |
|----------------|---------------------|---------------------|
| <b>●負債の部</b>   |                     |                     |
| <b>流動負債</b>    | <b>78,709</b>       | <b>74,479</b>       |
| 支払手形及び買掛金      | 52,724              | 52,833              |
| 1年内償還予定の社債     | 280                 | 50                  |
| 1年内返済予定の長期借入金  | 11,932              | 5,091               |
| リース債務          | —                   | 267                 |
| 未払法人税等         | 2,153               | 2,734               |
| 賞与引当金          | 2,343               | 2,483               |
| ポイント引当金        | 3,110               | 1,779               |
| その他            | 6,164               | 9,239               |
| <b>固定負債</b>    | <b>23,399</b>       | <b>24,643</b>       |
| 社債             | 50                  | —                   |
| 長期借入金          | 16,591              | 16,600              |
| リース債務          | —                   | 943                 |
| 繰延税金負債         | 0                   | 1,036               |
| 退職給付引当金        | 2,799               | 3,441               |
| 役員退職慰労引当金      | 1,201               | —                   |
| 負ののれん          | 478                 | 427                 |
| その他            | 2,277               | 2,193               |
| <b>負債合計</b>    | <b>102,109</b>      | <b>99,122</b>       |
| <b>●純資産の部</b>  |                     |                     |
| <b>株主資本</b>    | <b>93,690</b>       | <b>96,878</b>       |
| 資本金            | 21,086              | 21,086              |
| 資本剰余金          | 21,884              | 21,866              |
| 利益剰余金          | 62,548              | 68,809              |
| 自己株式           | △ 11,828            | △ 14,883            |
| 評価・換算差額等       | △ 680               | △ 1,259             |
| その他有価証券評価差額金   | △ 680               | △ 1,259             |
| <b>少数株主持分</b>  | <b>861</b>          | <b>1,142</b>        |
| <b>純資産合計</b>   | <b>93,872</b>       | <b>96,761</b>       |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>195,981</b>      | <b>195,884</b>      |

(注) 前期は、平成19年10月1日付で設立された株式会社マツモトキヨシホールディングスが、完全子会社となった株式会社マツモトキヨシの連結財務諸表を引き継ぎ、期首に設立されたものとみなして作成しております。

## ◆連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目          | 前 期<br>平成19年4月1日から<br>平成20年3月31日まで | 当 期<br>平成20年4月1日から<br>平成21年3月31日まで |
|--------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高          | 390,934                            | 392,268                            |
| 売上原価         | 285,359                            | 285,543                            |
| 売上総利益        | 105,575                            | 106,724                            |
| 販売費及び一般管理費   | 89,796                             | 90,400                             |
| 営業利益         | 15,778                             | 16,324                             |
| 営業外収益        | 2,072                              | 2,193                              |
| 営業外費用        | 868                                | 528                                |
| 経常利益         | 16,982                             | 17,989                             |
| 特別利益         | 95                                 | 134                                |
| 特別損失         | 3,910                              | 3,932                              |
| 税金等調整前当期純利益  | 13,167                             | 14,191                             |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,359                              | 5,659                              |
| 法人税等調整額      | 866                                | 586                                |
| 少数株主利益       | 140                                | 216                                |
| 当期純利益        | 6,801                              | 7,728                              |

## ◆連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目              | 前 期<br>平成19年4月1日から<br>平成20年3月31日まで | 当 期<br>平成20年4月1日から<br>平成21年3月31日まで |
|------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 18,313                             | 9,423                              |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,758                             | △3,107                             |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △13,223                            | △11,851                            |
| 現金及び現金同等物の減少額    | △2,668                             | △5,535                             |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 19,534                             | 16,866                             |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 16,866                             | 11,331                             |

## ◆連結株主資本等変動計算書 当期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：百万円）

|                                | 株主資本   |        |        |         |        | 評価・換算差額等         |                | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|--------------------------------|--------|--------|--------|---------|--------|------------------|----------------|--------|--------|
|                                | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自己株式    | 株主資本合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算差額<br>等合計 |        |        |
| 平成20年3月31日 残高                  | 21,086 | 21,884 | 62,548 | △11,828 | 93,690 | △680             | △680           | 861    | 93,872 |
| 連結会計年度中の変動額                    |        |        |        |         |        |                  |                |        |        |
| 剰余金の配当                         |        |        | △1,456 |         | △1,456 |                  |                |        | △1,456 |
| 当期純利益                          |        |        | 7,728  |         | 7,728  |                  |                |        | 7,728  |
| 自己株式の取得                        |        |        |        | △3,131  | △3,131 |                  |                |        | △3,131 |
| 連結範囲の変動                        |        |        |        | △120    | △120   |                  |                |        | △120   |
| 株式交換による変動額                     |        | △17    | △11    | 197     | 168    |                  |                |        | 168    |
| 株主資本以外の項目の当連結会計年度中の<br>変動額（純額） |        |        |        |         |        | △579             | △579           | 280    | △298   |
| 当連結会計年度中の変動額合計                 | —      | △17    | 6,260  | △3,054  | 3,187  | △579             | △579           | 280    | 2,889  |
| 平成21年3月31日 残高                  | 21,086 | 21,866 | 68,809 | △14,883 | 96,878 | △1,259           | △1,259         | 1,142  | 96,761 |

# 株式の状況

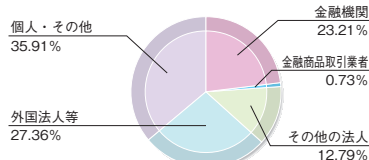
(平成21年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 210,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 53,579,014株
- 株 主 数 ..... 10,828名
- 大 株 主 (上位10名)

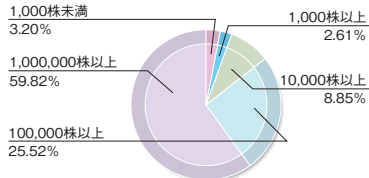
| 株 主 名                                                                 | 所有株式数    |
|-----------------------------------------------------------------------|----------|
| 松 本 鉄 男                                                               | 5,615 千株 |
| 松 本 南 海 雄                                                             | 4,169    |
| ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) サブアカウント<br>アメリカンクライアント (常任代理人 香港上海銀行東京支店)    | 4,047    |
| 株 式 会 社 千 葉 銀 行                                                       | 2,147    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)                                          | 2,041    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)                                              | 1,996    |
| 株 式 会 社 南 海 公 産                                                       | 1,743    |
| ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエスタックス<br>エグゼンブテドベンションファンズ (常任代理人 香港上海銀行東京支店) | 1,732    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)                                            | 1,586    |
| 全 国 共 済 農 業 協 同 組 合 連 合 会<br>(常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)               | 1,135    |

(注) 当社の自己株式5,836,832株は上記の表から除いております。

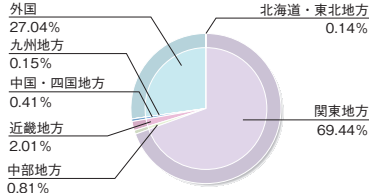
## 所有者別状況



## 所有株数別状況



## 地域別状況



# 会社概要

(平成21年3月31日現在)

## 会社概要

|           |                                                           |
|-----------|-----------------------------------------------------------|
| 名 称       | 株式会社マツモトキヨシホールディングス                                       |
| 所 在 地     | 〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1                                  |
| 電 話 番 号   | 047-344-5110 (代表)                                         |
| 会 社 設 立   | 平成19年10月1日                                                |
| 資 本 金     | 210億86百万円                                                 |
| 事 業 内 容   | 子会社の管理・統括および商品の仕入・販売                                      |
| 従業員数 (連結) | 正 社 員 / 4,324名<br>パ ー ト / 6,008名 (8時間換算)<br>合 計 / 10,332名 |

## ■役員 (平成21年6月26日現在)

|             |           |
|-------------|-----------|
| 代表取締役会長兼CEO | 松 本 南 海 雄 |
| 代表取締役社長兼COO | 吉 成 雅 司   |
| 専務取締役兼CFO   | 田 村 清 雄   |
| 専務取締役       | 松 本 清 雄   |
| 取締役相談役      | 松 本 津 男   |
| 取締役         | 根 津 孝 一   |
| 取締役         | 大 爺 正 博   |
| 取締役         | 小 林 諒 一   |
| 取締役         | 湯 森 紀 夫   |
| 取締役         | 大 木 哲 司   |
| 取締役         | 鈴 星 健 政   |
| 取締役         | 諸 井 村     |

## ■本社



## グループ企業一覧

株式会社マツモトキヨシ  
株式会社トウブドラッグ  
株式会社健康家族  
株式会社さばす  
株式会社エムケイ東日本販売  
株式会社マックス  
杉浦薬品株式会社  
株式会社ラブドラッグス

伊東秀商事株式会社  
株式会社茂木薬品商会  
株式会社エムケイプランニング  
株式会社マツモトキヨシ保険サービス  
株式会社ユーカリ広告

| 株主メモ                   |                                                                                                                                 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                   | 4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                 |
| 定時株主総会                 | 毎年6月                                                                                                                            |
| 単元株式数                  | 100株                                                                                                                            |
| 期末配当金受領株主確定日           | 3月31日                                                                                                                           |
| 中間配当金受領株主確定日           | 9月30日                                                                                                                           |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号                                                                                    |
| 同 連 絡 先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>電話 0120-232-711（通話料無料）                                                    |
| 上場証券取引所                | 東京証券取引所                                                                                                                         |
| 公告の方法                  | 電子公告<br>公告掲載URL <a href="http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html">http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html</a> |

## 【株券電子化に伴う株式のお手続きに関するご注意】

### 1. 「特別口座」について

株券の電子化に伴い、(株)証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様のお名前、ご住所等のデータは、当社が三菱UFJ信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。その「特別口座」に記録された株式数等のご案内は、三菱UFJ信託銀行から、株主様お届けのご住所宛にご送付いたしております。

### 2. 株式に関するお手続きについて

#### (1) 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先までお問合せ下さい。

#### (2) 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。なお、株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）では、お取り扱いができませんので、ご注意ください。

### 3. 株主様のご住所及びお名前の登録について

株主様のお名前等に(株)証券保管振替機構で指定されていない漢字等が含まれている場合は、通知物の宛名の全部又は一部が同社の指定した文字に置き換えられることがありますので、予めご了承下さい。

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1

TEL. 047-344-5110(代表)



本誌は環境に配慮し、再生紙に大豆油インキで印刷しています。